

障害者就労移行支援をより効果的に！

～実践家参画による効果モデル形成プロジェクトへのお誘い～

実践家参画型形成評価プロジェクト説明会

このプロジェクトの概要と、関心をお持ちの皆様がご参加いただく方法をご相談するための説明会を以下のとおり開催します。このプロジェクトに関心をもつ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- **日時:**2012年7月15日 日曜日 10:30～16:30
- **場所:**日本社会事業大学 文京キャンパス 401 教室
- **内容:**
 - 10:30～12:30 実践家参画型形成評価プロジェクトの趣旨・概要の説明、質疑応答
 - 12:30～13:30 昼食
 - 13:30～14:25 効果的プログラムモデル実施マニュアルの説明とグループ検討
 - 14:30～15:50 効果モデル形成のための評価ツールの説明とグループ検討
 - 16:00～16:30 全体討議、今後の共同プロジェクトの進行について
- **参加費:**無料

「障害者就労移行支援」がもっと効果的になるよう、

実践現場の創意工夫を反映してみませんか？

障害者就労移行支援事業は、「働きたい」と願う障害をもつ方々が職業を通じて自分らしい生活を営むという「希望」を実現するための取り組みとして、全国で実施されてきました。実践現場には多くの熱い思いを持った方々が存在します。しかし、障害者自立支援法施行から5年が経過しても、この事業の成果が十分に上がっているとはいえない状況が続いています。その背景には、効果的な実践モデルがいまだに形成されておらず、効果的な取り組みについての共通認識が関係者の間に共有されていないことがあると考えています。

私たちは、世界的に発展して来た**プログラム評価の理論と方法論**を用いて、この取り組みを科学的根拠に基づき、効果的なプログラムモデルに構築するためのアプローチを開発して来ました。また、その方法を障害者就労移行支援事業に適用し、障害者就労移行支援事業所の皆さまと構築したプログラムモデルの有効性を検証して来しました。

このプログラムモデルをさらに効果的なモデルに発展させ、全国で実施・普及を進めていくためには、障害者就労移行支援事業に関わる全国の実践家の皆様の参画を得て、**皆様の創意・工夫**を反映して行くことが不可欠と考えています。障害者就労移行支援に関わるさまざまな立場の皆様にご参画ご協力頂き、「実践現場発」によって、より効果的な就労移行支援プログラムを形成・発展する活動を共に進めてみませんか。

上記のとおり、障害者就労移行支援プログラムの**実践家参加型形成評価プロジェクト説明会**を開催します。このテーマにご関心をお持ちの多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

2012年6月

文部科学省・科学研究費補助金 基盤研究(A)
実践家参画型効果的プログラムモデル形成評価研究班
代表 大島 巖(日本社会事業大学教授)
効果のあがる就労移行支援プログラムのあり方研究班
分担研究責任者 植村 英晴(日本社会事業大学教授)

■こんなことはありませんか？



- 事業の最終目標があいまいになり、成果が見えない
- 自分と職場の同僚やその他の関係者間で目指すべきゴールが違っている
- 就労移行を積極的に進めようとする、「待った」が入る
- 就労移行率だけを目標にしてしまい、利用者のニーズに合った取り組みができない
- 個別のニーズを配慮しない画一的な取り組みにならないか心配である
- プログラム(事業)を継続する意味がわからない
- 目指すゴールは一緒でもアプローチがバラバラ
- 就労移行を進める創意・工夫が反映されない

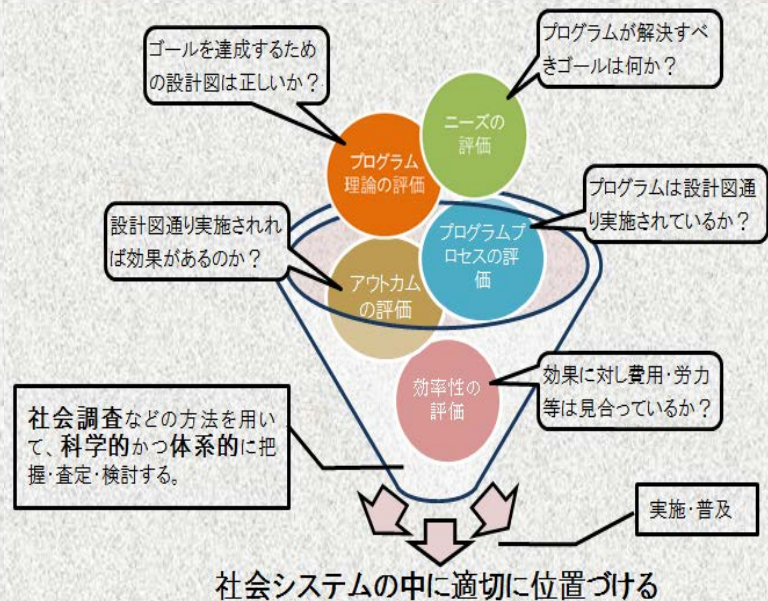
取り組みを体系的に振り返り、効果的にすることは専門職の職業倫理です

たとえば貴方が病気になり、お医者さんの治療を受けたとします。しかし検査も受けな
いまま、いつまでも良くなり、同じ治療法を受け続けたとすれば、その医師は医師の倫
理違反で訴えられてもおかしくありません。

退院して地域で暮らしたい、自分の望む仕事をしたい、という利用者の思いにより添う最善の支援を常に考慮し、自らの実践を見直し、支援方法を工夫することが、地域実践の専門家にも、職業倫理として求められることなのです。

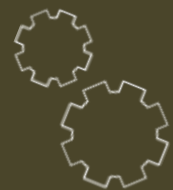
■プログラム評価とは…

まず**社会プログラム**とは、社会問題や社会状況を改善するために設計された、組織的で継続的な取り組みを言います。退院促進・地域定着プログラムもそのひとつです。**プログラム評価**とは、より良い社会プログラムを構築し、改善をはかり、その存廃や発展の方向性に関する意思決定をするために行われる体系的で科学的なアプローチ法のことです。社会調査などの方法を用いて、プログラムのさまざまなレベルの機能や活動、成果(ニーズ、プロセス、プログラム設計、アウトカム、効率)を、科学的かつ体系的に把握・査定・検討し、社会プログラムを社会システムの中に適切に位置づけます。保健・医療・福祉学など対人サービス研究における主要な研究方法であるとともに、それ自体が有力な**社会実践活動**でもあります。



実践家参画型形成評価プロジェクトにご参加いただく 3つの方法

- 1 実践家参画型形成評価サイト(PPCaFE)や
 メーリングリストへの参加による意見交換
- 2 効果的プログラムモデル形成評価**試行プロジェクト**
 (2013.1より1年の予定)への参加
- 3 効果的プログラムモデル実施マニュアル
 実践家参画型評価ツール**作成ワーキンググループ**への参加



※いずれか1つ、あるいは2つ、またはすべての活動にご参加いただけます。

■ 実践家参画型評価サイト、メーリングリストとは…

私たちが目指しているのは、福祉実践プログラムに関する実践家の皆さまと、福祉系大学など大学・研究機関が連携・協同して、効果的な実践プログラムモデルを、継続的に改善する「継続的改善アプローチ」です。

実践家参画型評価サイト(PPCaFE)では、効果的なプログラムモデルを具体的に示すための重要な構成要素(効果的援助要素や効果的プログラムモデルのプログラム理論、実施マニュアルなど)を、本プロジェクトで取り上げている各プログラムごとに提示しています。

その上で、実践家の皆様にご参画頂き、実践現場で経験されたことなど率直にご発言頂き、より効果的なプログラムモデルに、発展・形成するために、メーリングリストでの日常的な意見交換を行います。

(サイトURL) <http://ppcfe.com/>



■ 効果的プログラムモデル形成評価試行プロジェクトとは…

福祉系大学(日本社会事業大学)と実践現場がパートナーシップを形成して、効果的な実践プログラムモデルの形成に取り組みます。福祉実践プログラムを、根拠の明らかなより効果的なプログラムモデルに形成・発展させるためには、プログラム評価のアプローチ法が不可欠です。それと同時に、実践家の皆さんが、積極的に実践現場の創意・工夫を反映させて、プログラム評価に関与することが求められています。そのために以下のことに取り組みます。

■ 効果的プログラムモデル形成評価の実施(1年間)

実践家の皆様の参画を得て、成功事例や失敗体験から得た創意・工夫、重要な要素を抽出し、実際にモニタリングし、プログラムをより効果的にするための“マニュアル”を作成します。

■ 効果的プログラムモデルの再構築、更新のための意見交換会参加

意見交換会などを通して、効果的プログラムモデルやその実施マニュアルの改訂を行います。

■ 共同研究班の“評価ファシリテーター”との連携

“プログラム評価”について学んだ評価ファシリテーターと実践家の皆様が共同して本プロジェクトに取り組みます。

創意工夫をまとめあげ、整理し、“効果的プログラムモデル”を作成します。

創意・工夫

創意・工夫

創意・工夫

効果的プログラムモデル

実施・普及

実践現場にある皆様の創意工夫

“効果的プログラムモデル”を実施・普及します。

実践現場にある皆様の創意工夫

実践現場

■ 効果モデル実施マニュアル・実践家参画型評価ツール 作成ワーキンググループとは…

障害者就労移行支援の実践に関わっていらっしゃる実践家の皆さまと**パートナーシップを形成**し、私どもが開発して来た効果的障害者就労移行支援プログラムの効果的援助要素や実施マニュアルの見直しを行い、より実践現場に適合した効果的プログラムモデルを検討します。同時に、効果的プログラムモデル形成評価試行プロジェクトで使用し、実践現場で容易に活用できる形成評価のための評価ツールを共同で開発します。

具体的に共同で取り組む活動は以下のとおりです。

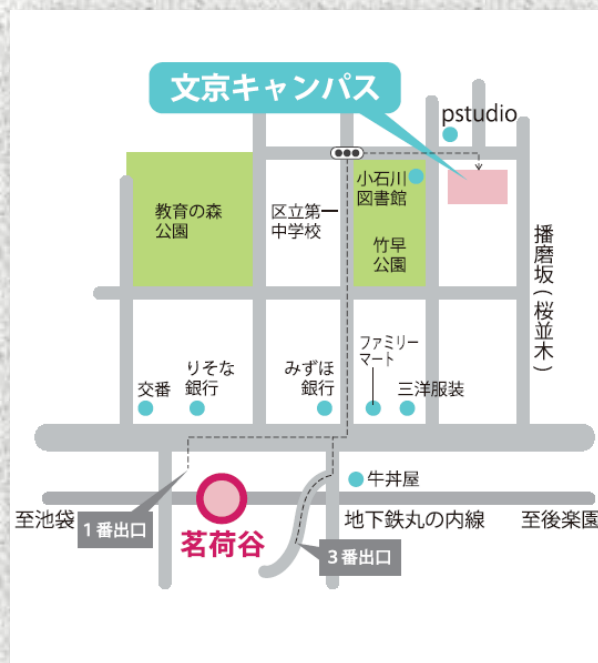
- ✚ 実践にマッチした効果的プログラムモデルの再検討
- ✚ 効果的プログラムモデルの実施マニュアルの共同作成
- ✚ 形成評価ツールの共同作成
 - アウトカムモニタリング法の共同検討
 - フィデリティ評価自己評価モニタリング法の共同検討
 - ウェブ上で、実践現場の創意・工夫を共有化する方法の共同検討(PPCaFEの使用など)



■ 説明会会場

日本社会事業大学文京キャンパス
東京都文京区小石川5-10-12

地下鉄丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩5分
駅前より春日通に出て、後樂園方面へ。
みずほ銀行を左折し、1つ目の信号を右へ。



■ お問い合わせ・申し込み先:

- ✚ 効果のあがる就労移行支援プログラムのあり方研究会
日本社会事業大学・大島研究室
〒204-8555 東京都清瀬市竹丘 3-1-30
Email: oshima2.jcsw@gmail.com, Fax: 042-496-3126

- ✚ 以下のサイト、あるいは Fax で受け付けています。

<http://psilocybe.co.jp/2012/0715/>

●●Fax で参加申込書の際には、下記をご連絡ください●●

① 所属名、②お名前(ふりがな)、③ご住所、④お電話、⑤ご参加人数

- ✚ 申込み締切日:平成24年7月13日(金)

※ただし、お申し込み多数の場合には先着順とさせていただきますのでご了承ください。